

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



▲ この男子、石化に悩んでいます。 ©Soubi Yamamoto / CoMix Wave Films



▲ っ飛ばせ！ドリーマーズーカープ誕生物語ー



▲ アマイとサダコの折り



▲ ヒロシマに一番電車が走った ©2005 NHK

アニメーションを広島の新しい都市文化のひとりに

特集

第18回広島国際アニメーションフェスティバル1年前イベント
広島ゆかりのアニメーション 上映会

今年の夏、NPO法人広島アニメーションシティは、広島市映像文化ライブラリーと共に広島ゆかりのアニメーション作品の上映会を開催します。この上映会は昨年に続いて2回目。今回は、2020年8月に予定されている第18回広島国際アニメーションフェスティバルの1年前イベントとして開催します。

今回の上映会では、1970年代後半から現在までに製作された広島ゆかりのアニメーション作品をピックアップ。『ピカドン』や『はだしのゲン』など原爆をテーマにした作品のほか、戦後広島の復興期に広島カープが誕生した時期を子ども達の視点から描く『っ飛ばせ！ドリーマーズーカープ誕生物語ー』、さらには広島出身の

山本蒼美監督による『この男子、石化に悩んでいます。』を上映。また、広島国際アニメーションフェスティバルの受賞作品上映やパネル展（歴代ポスター等）も行います。

【期間】 2019年8月22日(木)～8月25日(日)

【場所】 広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)

【共催】 NPO法人広島アニメーションシティ 広島市映像文化ライブラリー

【協力】 広島市 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会 ANT-Hiroshima



▲ピカドン ©スタジオロータス



▲はだしのゲン



▲ジュノー

● 8月22日(木)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 18:00 ~
大人 510 円、シニア (65 歳以上) 250 円、平成生まれの方は無料

『ピカドン』

1978 (昭和 53) 年 スタジオロータス 10 分 カラー
演出/木下蓮三

『はだしのゲン』

1983 (昭和 58) 年 ゲンプロダクション 83 分 カラー
監督/真崎 守 声の出演/宮崎一成、井上孝雄、島村佳江、甲田将樹

● 8月23日(金)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 18:00 ~
大人 510 円、シニア (65 歳以上) 250 円、平成生まれの方は無料

『ヒロシマに一番電車が走った』

1993 (平成 5) 年 NHK 広島放送局 32 分 カラー
監督/平田敏夫 声の出演/大定純子、吉村美紀、大原稜子、木村知恵美

『はだしのゲン2』

1986 (昭和 61) 年 ゲンプロダクション 86 分 カラー
監督/平田敏夫 声の出演/宮崎一成、島村佳江、甲田将樹、青山貴美

● 8月24日(土)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 18:00 ~
入場無料

『アマイとサダコの祈り』

2019 (平成 31) 年 ANT-Hiroshima 8 分 カラー
監督/ファウジア・ミナラ

『かつ飛ばせ! ドリーマーズ -カーブ誕生物語-』

1994 (平成 6) 年 広島映画センター 87 分 カラー
監督/兼森義則 声の出演/甲田将樹、小山裕香、風見しんご、相原 勇

● 8月25日(日)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~
大人 380 円、シニア (65 歳以上) 180 円、平成生まれの方は無料

『この男子、石化に悩んでいます。』

2014 (平成 26) 年 コミックス・ウェブ・フィルム 28 分 カラー
監督/山本蒼美 声の出演/蒼井翔太、平川大輔

『ジュノー』

2010 (平成 22) 年 アニメ・ジュノー制作委員会 64 分 カラー
監督/木村真一郎 声の出演/家中 宏、豊崎愛生、高垣彩陽、小川真司

◆ Pick Up!

基町高校の生徒作品『少女の祈り』が受賞!

令和元年度 地域発デジタルコンテンツ総務大臣奨励賞受賞 平和のアニメーション

広島市立基町高等学校教諭 美術科 上川英紀

この度、創造表現コースの生徒が制作した平和のアニメーション「少女の祈り」が、総務省主催「地域発デジタルコンテンツ」において、総務大臣奨励賞を受賞しました。

6月3日に都内で開催された総務省主催「電波の日・情報通信月間記念中央式典」に生徒代表として桐林勲さん(本校卒業生で現在は武蔵野美術大学1年生)が出席し、佐藤ゆかり総務副大臣より賞状が授与されました。

総務省では、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、全国のデジタルコンテンツに関するコンテスト等を実施しており、中でも特に素晴らしい作品を制作し、今後の制作活動が期待される方々について、総務大臣奨励賞を授与しています。今回、全国から選ばれた8つの団体・個人の作品の一つに創造表現コースの生徒作品が選ばれ、平成28年度総務大臣奨励賞受賞に続いて2度目の受賞となりました。



▲『少女の祈り』

受賞したアニメーション「少女の祈り」は、昨年桐林勲さん(当時3年生)を中心に10人の生徒が共同で制作したもので、本校卒業生の上田由美子さんの詩集「八月の夕凧」から「奇跡の友」という詩を題材に、広島原爆投下によって被爆した少女がその後も苦しみ抱えながら、平和を願い、強く生き続ける姿を作品にしたものです。

平和のアニメーション制作は、広島市と広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会が主催する「平和・広島をテーマにしたアニメーション制作支援事業」において本校が毎年取り組んでいるもので、この度受賞した「少女の祈り」は、昨年8月に広島市主催「ヒロシマの心を世界に2018」、3月に広島市映像文化ライブラリー主催「ひろしま映像ショーケース2019」で上映しました。



▲制作風景

* 広島市立基町高等学校・創造表現コース Web サイトより、関係者の許可をいただき転載 (<https://www.sozohyogen.jp/archives/4291>)

Report

ポップカルチャーで国際交流！
ポップカルチャーひろしま 2019



▲ イベント会場の様子 (左・右)

世界 12 の国・地域からコスプレイヤーも集合！ トークイベントに声優・竹内順子さん (ナルト役など) が出演

ポップカルチャーをテーマに、世界中の若者達の交流をめざす「ポップカルチャーひろしま 2019」が、4月13日(土)・14日(日)に広島県民文化センターやサンモール、おりづるタワーなど(いずれも広島市中区)を会場に開催され、世界12の国・地域からの36人の海外ゲストコスプレイヤーを含め、約1万人の参加者でにぎわいました。

2017年の第1回イベントから数えて3回目の今年は、開催初日に本通り商店街でのパレードなどで多くの市民から注目を集めました。メイン会場も広島県民文化センター多目的ホールを利用してステージパフォーマンスを充実。フィナーレでは、海外からのゲストと地元のコスプレイヤー、そして一般の参加者がステージに上がり、一緒にアニソンを熱唱するなど大いに盛り上がりました。実行委員会では2020年4月の開催に向けて準備中とのこと。来年の開催も楽しみです。

Pick Up!

ポップカルチャー × 幕末 = 広島の新たな伝説の発掘！
幕末彼氏伝 -Legends in Hiroshima-

大政奉還の立役者は広島藩だった!?

本誌前号(18号)でもお伝えしたように、このプロジェクトは、幕末から明治維新への変動期に広島藩士達が果たした大きな役割を伝える活動です。

『二十歳の炎』『広島藩の志士』『芸州広島藩神機隊物語』などで知られる作家・穂高健一氏の原作を若いクリエイター達の感性でキャラクター化。イラストレーターの中久保涼・中久保渉の両氏や総合学園ヒューマンアカデミーの学生達がイラストやマンガの制作に取り組んでいます。『広島藩の志士~二十歳の英雄 高間省三物語』のマンガ化のために実施したクラウドファンディング第1弾(6月)では、目標額の523%を達成。現在、第2弾も募集中ということで、ますます勢いに乗っています。



▲ 作品の一場面



▲ 幕末彼氏伝 キービジュアル

Event Information

ポップラ劇場 2019
市民野外上映会 『ももへの手紙』

日時：2019年8月17日(土) 16:00~21:30(予定)
場所：基町 POP'La (ポップラ) 通り
(広島市中区基町 中央公園西側河岸緑地・基町環境護岸)
参加定員：300人(8月4日までに主催者へ申し込み)
入場料：無料(任意で参加費大人一人500円のご協力をお願いします)

【主催】ポップラ・ペアレンツ・クラブ 広島市映像文化ライブラリー
【協力】シネマ・キャラバン V.A.G 【後援】水の都ひろしま推進協議会
【お問合せ】ポップラ・ペアレンツ・クラブ 担当：山崎
090-4695-3077 (受付 13:00~18:00)
【ウェブサイト】<http://poplarentsclub.web.fc2.com/pages/event.html>
【Facebook】<https://www.facebook.com/poplatheatre/>
※順延情報は Facebook にて



▲ 昨年度の会場の様子



▲ 市民野外上映会ポスター

◆ この世界の片隅に News!!

物語は時代を超えて世界をつないでゆく
～映画『この世界の片隅に』を、HIROSHIMA 八丁座から世界へ！

平成の時代に創られた昭和の物語が、奇跡のように、令和の時代にも上映され続けています。映画の中で主人公ずさんがスケッチする建物・福屋八丁堀本店。その中にある八丁座では、8月2日から1週間限定で『この世界の片隅に』が英語字幕付きで上映されます。一般映画館での英語字幕付き上映はめったにありません。これまで何回も観た人もそうでない人も、英語字幕『この世界の片隅に』を体験してみてください。新たな発見があります。8月6日には片淵須直監督の舞台挨拶も。世界中の様々な国から観光で訪れた方々、また、広島にお住まいの外国人の方々にも八丁座で映画体験してもらい、より広島に親しんでもらえたら、素晴らしいことです。映画で描かれた風景を見た後に、同じ街の現在の姿を見ることで、新たな気づきが生まれますように。また、8月初めには地上波でのテレビ放送もあります。あわせて祖父母や家族に話を聞いて SNS 投稿する「デジタル時代の戦争伝承」を取り上げたNHKスペシャルも放送されます。7月12日からは『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』ムビチケ販売も始まりました。映画『この世界の片隅に』が生み出した新たな戦争伝承の形を、8月だけでなくずっと続けていき、私たちそれぞれの身の回りから世界へと伝えていきたいものです。(文 松浦妙子/HAC理事)



▲ 八丁座 英語字幕付き上映チラシ

● 蔵本健太郎支配人からのメッセージ

広島には毎年、世界中からたくさんの方々が来られます。ぜひ和モダンな劇場で、日本の美やおもてなしを感じていただきながら、映画をお楽しみいただければ幸いです。そして、劇場を出たら、すぐ目の前に広がるのは、映画に登場する広島の街の景色。聖地巡礼も良いですね♡

上映：8月2日(金)～1週間限定 連日朝 10:15～

- あわせて観たい！
『ひろしまー1945年8月6日、原子雲の下の真実ー デジタルリマスター版』
8月2日(金)～15日(木)※2～8日は英語字幕付き
【八丁座公式サイト】<https://johakyu.co.jp> 【お問合せ】082-546-1158

- 『この世界の片隅に』(2016/11/12 公開)
公式サイト <https://konosekai.jp/>
- 『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』(2019/12/20 公開予定)
公式サイト <https://ikutsumono-katasumini.jp/>
- ©この史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会

広島新銘菓

生もみじ

にしき堂

比治山大学 比治山大学短期大学部

<p>現代文化学部</p> <p>言語文化学科 日本語文化コース 国際コミュニケーションコース マスコミュニケーション学科 社会臨床心理学科 子ども発達教育学科</p> <p>健康栄養学部</p> <p>管理栄養学科</p>	<p>短期大学部</p> <p>総合生活デザイン学科 幼児教育科 美術科</p>
--	---

かわらない心。
かわりゆく
時代の先へ。

グラフィックデザイン 日本画 マンガ・キャラクター

洋画

映像・アニメーション

工芸デザイン

比治山大学短期大学部 美術科

発行日：2019年7月29日 発行部数：6000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集：NPO法人広島アニメーションシティ (HAC)・谷口重徳 / デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・内藤泰雅
【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局
〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳研究室内
<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723